



福井ふるさと文学館(仮称)の整備について(1)

文学館のイメージ図



企画展示ゾーン〈約160㎡〉

- 展示内容に合わせて、レイアウトを変更できる可変展示システムを採用
- 遮光、空調などの室内環境や資料保護に配慮した展示ケースを整備



代表作家ゾーンイメージ

図書・映像ゾーン〈約510㎡〉

- 福井の文学を紹介する映像や企画展に対応した映像を上映する映像スペースと、個別に視聴できる映像音声視聴コーナーを設置
- 展示室の周囲に福井ゆかりの作家の作品や、福井を描いた書籍を配置

代表作家ゾーン〈約160㎡〉

- 福井を代表する作家、中野重治、高見順、水上勉、三好達治、津村節子の5人について各作家を象徴する自筆原稿、愛用品、初版本等の資料を展示
- 可動間仕切り、移動可能な視きケース、パネルの交換が可能なシステム壁面を採用

エントランス



- 来館者動線を考慮し、図書館空間と融合する開放的なエントランス
- 外観意匠は県産材の杉を採用。資料保護の観点から展示室は外光の影響を受けない構成

導入ゾーン〈約190㎡〉

- 正面の柱で、福井ゆかりの作家の肖像、作品中の文章などを紹介
- 福井ゆかりの作家30人や福井を描いた文学作品に関わる資料をジャンル別、テーマ別に紹介
- 文学マップ、新着資料などを紹介するタイムリースポットコーナーなどを配置



福井ふるさと文学館(仮称)の整備について(2)

施設概要

場 所 福井県立図書館内 郷土・環日本海コーナーに設置
面 積 1,020㎡(うち展示ゾーン約510㎡)

スケジュール

平成26年1月	書架移設、図書館改修工事着手
5月	展示工事着手
平成27年2月	開館

